

地域で学び、地域で育つ琴高生

★ 琴高通信

第6号

編集発行

香川県立琴平高等学校
香川県仲多度郡
琴平町142-2
電話0877(73)2261

地域で学ぶ琴高生「琴高サポーター」



校長 高田 耕治

日差しが日増しに強くなり、春の兆しを感じられる候となりました。地域の皆様には本校の教育活動に多大なご支援・ご協力を頂いておりますことに心よりお礼申し上げます。

近年の少子高齢化や人口減少の進行を考えますと、県内在住の若者は将来の香川県を動かしていく重要な人材であると思います。そこで、このような若者を育成することが高校の役目であると考えております。本校では地域で活躍する生徒を育成すべく、地域との連携を強力に推進し、近隣地域でのイベントやボランティア活動など、様々な体験活動を通じて、地域リーダーとしての資質の育成を推進しております。また、このような活動の場や機会を提供していただける方を「琴高サポーター」として求めています。

この度、琴高通信第六号を発行いたしました。地域で育てて頂いた生徒達の活動の様子をここに掲載しております。ご覧いただき、そのご感想やご意見をいただければ幸いです。



スタッフとして 1月9日(土)

生徒会が、こんびら温泉まつりで、スタッフとして、観光客の方に、パンフレットを配布したり、呼び込みをしたりしました。地域の一員としての自覚を持つと共に、自分から人に働きかけていく姿勢を学びました。

琴平高校芸術祭 in ACTことひら

平成22年1月3日(日)～2月1日(月)

ACTことひらでの発表会は、平成14年に「琴平高校書道展」として始まり、年々参加する部活動が増え、今年は、新たに「お茶席」も設けて、名称を「琴平高校芸術祭」として開催しました。また、琴高生が日頃「地域との連携」の中で活動する様子をパネルにして展示しました。

一日平均109名の来場者がありました。来場者からは、「琴高の皆さんの心美しい姿を感じ感動します。」「この寒さの中、地域の方や参拝に来られた方をもてなしてくれる。すばらしいことです。」「楽しかったよ。来年も来るよ。」「などの声が寄せられました。また、「ボランティアの参加状況を見て町民の一人として本当にこの上ない喜びでいっぱいです。」との声も頂きました。

吹奏楽コンサートでは、美術や書道作品の展示されたギャラリーで、来場された方と「ふるさと」等の合唱で一つになって楽しいひと時を過ごしました。



吹奏楽コンサートの様子をミニアルバムにまとめて届けてくれた方や、「今日一日では見切れなかったから、また明日きます。」と言って帰られた方もいて、地元の方から元気をいただきました。

展示されたギャラリーで、来場された方と「ふるさと」等の合唱で一つになって楽しいひと時を過ごしました。



「琴高ウィーク」(公開授業週間)

平成21年12月10日(木)～18日(金)

琴高生としてのアイデンティティを実感することができ、行事を集中的に行い、地域の皆様にも見ていただきました。

先輩講演会 12月10日(木)

豊嶋浩司さん(昭和59年卒)から、「自分の目標をもってがんばることの大切さ」についての話をうかがいました。また、豊嶋さんが所属する「ラッツエラーズ」のミニコンサートですばらしいハーモニーを味わいました。



人権・同和教育映画「手紙」上映会 12月11日(金)

異種武道大会 12月14日(月)

国体優勝ペアによるなぎなた演技や剣道部顧問による形の披露の後、剣道部対なぎなた部の異種試合を行いました。当日は、四条小学校の児童も観戦しました。



書道・美術・写真・家庭 生徒作品展 期間中

郷土芸能公演会・吹奏楽部演奏会 12月15日(火)

「こんびら船々」等の踊りや三味線での「となりのトトロ」演奏や吹奏楽部の演奏と踊りのコラボレーションを楽しみました。

民謡や吹奏楽の演奏を通して、文化的雰囲気を感じることができたひと時でした。



地域で学ぶ琴高生

地域の一員として



こんぴらさんを車椅子で

11月8日(日)



サッカー部員が、イベント「あがろうよ！こんぴらさん」において、本宮までの石段で、車椅子の方を担ぎあげるボランティアを務めました。「支え合う心」の大切さに気付くことができました。

南幼稚園の運動会への参加

9月19(土)



希望者が幼稚園の運動会のボランティアを務めました。用具の出し入れを手伝ったり、競技に参加したりして交流を深めました。自分の進路について考えるよい機会となりました。

「ふれあいデー」に参加

7月31日(金)



とらすとKが、「あなたは大丈夫！？とらすとK防災度チェック」をクイズ形式で行い、地域の方と「多くの人と顔見知りになり、日頃から交流を深めておくことの大切さ」を確認しました。

氏子祭への参加

10月1日(木)

剣道部男子が、金刀比羅宮氏子祭において、奉納する「幣帛」の運搬係を務めました。地元の伝統文化に触れると共に、無事運び終えた達成感を持つことができました。



リズムなぎなた

8月1日(土)



なぎなた部が、「第33回まんのうフェスティバル」で、リズムなぎなたの演舞を披露しました。地元の方に、力強さの中に女性らしさをもったなぎなたの魅力を伝えられたと思います。

こんぴら温泉まつりへの参加

1月9日(土)



郷土芸能同好会が、こんぴら温泉まつりで、「こんぴら船々」等の踊りを披露しました。全国から琴平を訪れた観光客の方に、郷土の伝統芸能を楽しんでいただきました。

商店街の提灯清掃

10月6日(火)



野球部員が例大祭に向けて新町商店街の提灯を清掃しました。地元の方の温かい応援を実感しながら、地元へ貢献できた喜びを味わうことができました。

ゆうゆうクラブ

7月21日(火)～8月31日(月)



学童保育「ゆうゆうクラブ」で、子ども達と一緒に遊んだり、宿題の手伝いをしたりと、学童保育補助を務めました。

子ども達との交流を深めると共に、コミュニケーションの取り方など多くのことを学びました。

温泉水奉納

1月9日(土)



野球部員が、こんぴら温泉まつりで、温泉水奉納神輿を担ぐボランティアを務めました。地元の方に見守られて、大役を果たせたことで地域の一員としての自覚を持つことができました。

町民体育祭でのボランティア

11月1日(日)

生徒会役員が、琴平町・町民体育祭で、競技運営の補助員を務めました。また、アトラクションとして「こんぴら検定」も行いました。地域の方と一緒に楽しい時間を過ごしました。

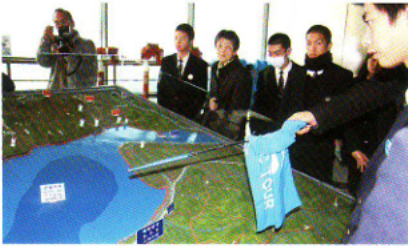


韓国に学ぶ 琴高生

韓国修学旅行(2年生)
12月1日(火)～4日(金)

統一展望台見学

12月1日(火)



あいにくの霧のため、対岸の村を眺めることはできませんでしたが、北韓国、統一室の見学を通して、民族分断の悲しい現実を知ることができました。

『イムジンガン南と北の戦争で
できた溝にたまるは涙』

現地高校生との交流会

12月2日(水)



「南漢高等学校」の高校生と、事前学習で学んだ韓国語や身振り手振りを交えた英語での会話や、サッカー等のスポーツで交流を深めました。メルアドを交換した生徒もいます。

『アンニョンハセヨまずは挨拶自分から
言葉の一線越えた気がする』

班別自主研修

12月3日(木)



班ごとの計画に基づいて、ソウル市内を見学しました。ガイド役の韓国人学生と地下鉄や徒歩で移動しました。博物館、繁華街、清溪川、大学生街などを訪れ、韓国の今と昔に触れることができました。

『韓国で言葉があまり通じない
初めて思う英語大切』

部活動を活かして

こんびらさんの登山道整備

12月12日(土)



山岳部が、象頭山・大麻山登山ルートを整備を行いました。登山道のゴミを拾ったり、倒木を片付けたりして、地元への愛着を深めました。

「クリスマス会」でのコンサート

12月23日(水)



吹奏楽部が、「ちょっとこ場」でコンサートを開きました。ミュージックベルや指揮体験で子ども達と一つになって楽しむことができました。多くの人が、気楽に声をかけてくれて、地域の一員になれた気がしました。

琴平町少年野球教室

12月23日(水)



琴平町内の少年野球チームの小学生を招き、基礎・基本の一つひとつを確認しながら、一緒に練習しました。野球への思いを強くすると共に、プレーを見せる立場としての自覚を強めました。

中学生の強化合宿

7月18日(土)



剣道部が、中学校剣道強化合宿で、審判を務めたり、地稽古に参加したりしました。学校間を超えた先輩・後輩の関係を築けました。また、中学時代の恩師に自分の成長した姿を見てもらえました。

特別養護老人ホーム訪問

8月22日(土)



郷土芸能同好会が、「満濃荘」で開かれた「夏の夕べ」で、「こんびら船々」等の踊りを披露しました。また、「どんぐりころころ」等の曲に合わせて手遊びやうちわ踊りを行い、楽しいひと時を過ごしました。

中学生との合同稽古会

8月29日(土)



なぎなた部が、地元の中学生と合同稽古会を行いました。なぎなたを志す者としての交流を深めるだけでなく、先輩としての自覚を持つことができました。

部活動 今年も琴高勢が大活躍

運動部

弓道部

選抜大会県予選
・男子団体 4位 (四国大会へ出場)
なぎなた部
・インターハイ

・団体 5位

・個人 2位 (大岡)

・演技 3位 (金關・大岡)

国民体育大会 (新潟国体)
・演技 6位 (田坂・大岡)

・試合 7位 (大岡・金關・田坂)

県新人大会
・団体 優勝 (28年連続37回目)

・演技 優勝 (森本・濱崎)
・演技 2位 (新居・白川)

・個人 優勝 (藤井)
2位 (中山)
3位 (濱崎)

文化部

放送部
第21回高校放送コンテスト新人大会
・アナウンス部門 3位 (蔵本)

演劇部
第26回香川県高等学校総合文化祭演劇部門大会
・香川県教育委員会教育長賞・演出賞

・演技賞 (宮前)

第34回四国地区高等学校演劇研究大会
・優良賞

写真部
第26回香川県高等学校総合文化祭
・写真部門 最優秀賞 (香川)

(全国大会へ出品)

書道部
第38回全国高校書道展

・特選 (篠原・林・西丸)

とらすとK
第13回ボランティア・スピリット・アワード

・全国賞 (堀家)



進路指導部より

地元志向・安全志向強まる

コース制の特色をいかして早い時期から進路目標を明確にすることができ、生徒の目標に応じた進路指導ができました。

一方、世界的不況の影響で家庭の経済状況が激変し、進路の方向性を変えざるをえない生徒も出てきました。

進学については、多数の生徒が秋に実施される推薦入試で進路を決めています。センター試験を利用した一般試験に向けて頑張った生徒もいました。結果として関西や中・四国の私立大学への進学が多数を占めました。また、短大や専門学校では自宅から通える地元志向が強くなり、現れました。

就職については、厳しい折りではありませんが、就職希望者のほぼ全員が内定を戴きました。とはいえ、秋以降の追加募集が極めて少なく、就職準備のスタートに出遅れた生徒は内定を戴くまでの道程が険しかったようです。

本年度主な進路先 (2月10日現在)

進学

駒澤大、拓殖大、文化女子大、東海大、愛知東邦大、京都橘大、京都光華女子大、京都産業大、龍谷大、佛教大、大阪学院大、大阪経済大、大阪国際大、大阪芸術大、近畿医療福祉大、桃山学院大、神戸学院大、奈良大、吉備国際大、ノートルダム清心女子大、岡山理科大、倉敷芸術科学大、美作大、就実大、福山大、広島工業大、徳島文理大、四国学院大、高松大、松山大、福岡大、川崎医療短大、高松短大、香川短大、四国職業能力開発大学校、香川県立農業大学校、香川県歯科医療専門学校

就職

アオイ電子、朝日スチール、大倉工業、花壇、琴平グランドホテル、大同ゴム、マルナカ、宮脇書店、郵便事業 四国支社、ラモナー



悲しみを抱えながらも、互いに助け合いながら生き抜いてこれた体験を語って下さいました。

私達は、今回の訪問で、災害に見舞われた時、それを乗り越える時、「人と人とのつながり」が何より大事だという「神戸からのメッセージ」を受け取って帰ってきました。

神戸に向かう途中、淡路島の野島断層を見学しました。この断層の走る町も、十五年前、震度7の激震が襲いましたが、翌日の夕方には行方不明者約三百人を全員救出したそうです。近所の人の家族構成や寝ている場所を把握していたからできたことだと、教えていただきました。日頃からの近所づきあいが、いざという時、大いに役立ったのです。

神戸市東遊園地で行われた、「1・17のつどい」にも参加しました。十五年前の今、ここにいる人達がどれほど辛い思いをしたのかと考えると、涙が出ました。震災が残した心の傷は、神戸の皆さんのなかでずっと癒えることは無かったのだと感じました。

また、文通相手の皆さんは、



「人と人とのつながり」を大切に
震災から十五年目の神戸を訪ねて
とらすとK

